



文化部
MINISTRY OF CULTURE, TAIWAN

2016 年

10月15日(土)
~10月25日(火)

10:00~17:00 (入館は16:30まで)

東京藝術大学大学美術館陳列館

会期中無休 入場無料

台湾・日本 現代絵画の 未来と可能性

出品作家 Artists

范揚宗

Fan Yang - Tsung

顏好庭

Yen Yu-Ting

李逸琦

Li Yi-Chi

黃沛涵

Huang Pei - hang

劉韋岑

Liu Wei - Tsen

侯忠穎

Hou Chung-Ying

林瑩真

Lin Ying - Chen

岩谷駿

Iwaya Shun

窪井裕美

Kuboi Hironi

千村曜子

Chimura Yoko

長澤耕平

Nagasawa Kohei

濱田香織

Hanada Kaori

吉野もも

Yoshino Momo

The Future and Potential of
TAIWANESE & JAPANESE
Contemporary Painting

参考図版



Fan Yang-Tsung



Kuboi Hiromi



Chlmura Yoko



Yen Yu-Ting



Lin Ying - Chen



Nagasawa Kohei



Hou Chung -Ying



Liu Wei -Tsen



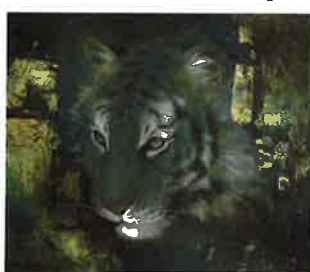
Iwaya Shun



Huang Pei -hang



Hamada Kaori



Li Yi - Chi



Yoshino Momo

台湾と日本は、東アジアに位置した同じ島国であり、自然に恵まれた国土を有しています。その風土の中に息づいた自然崇拝や仏教、道教、儒教などと交差し、また西洋の文化と融合しながら、それぞれの美意識を創造し、現在に受け継がれています。

「台湾・日本芸術文化交流事業」は、アジア芸術宣言の主旨に伴い、東京藝術大学と台湾文化部の共催による新たな芸術文化交流事業として2013年に発足し、新しい芸術表現の可能性を探り、次世代の芸術家を育成すること、文化交流の促進及び台湾文化に対する認識向上を目的としています。4回目となる本展覧会は「台湾・日本・現代絵画の未来と可能性」と題し、台湾と日本、それぞれの国の伝統的な絵画表現の独自性に焦点を当てるとともに、東アジアとしての地域性の共通点と、表現様式のグローバルな発展の可能性を検証します。本展覧会は、台湾の文化や美術意識を背景に、新たな絵画表現を試み活動している若手作家7名と日本の日本画、油画の若手作家6名との作品発表を通して、未来をにう現代の台湾、日本の美術を紹介する企画となります。

関連企画 | Event

シンポジウム Symposium

日時 | 2016年10月17日(月) 17:00-18:00 入場無料

会場 | 東京藝術大学美術学部中央棟第1講義室

アクセス | Access

〒110-8714

東京都台東区上野公園 12-8

JR上野駅公園口・東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成上野駅・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩15分

駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

事業名：台湾・日本芸術文化交流事業 台湾文化光点計画

主催：東京藝術大学、台湾文化部

企画：東京藝術大学美術学部

協力：台北駐日経済文化代表処

後援：台東区

助成：公益財団法人交流協会

お問い合わせ：TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)

東京藝術大学大学美術館 HP <http://www.geidai.ac.jp/museum/>

